

令和5年度 事業報告書

4.1.3.2 建設業部会

- 1) 事業活動計画及び事業活動結果について審議・承認し、計画に基づき活動した。(三役会 10回、部会 2回開催)
 - ・ 「夏季現場見学会」を8月31日に「成瀬ダム堤体打設工事」(鹿島・前田・竹中土木JV)で開催した。(参加者 21名)見学会報告を、機関誌(令和5年11月号)に掲載した。
- 2) 生産性向上、品質確保、及び環境保全をねらいとした「人づくり」、「場づくり」として、次の活動を行った。(機電技術者交流企画 WG9回)
 - ① 第24回機電技術者意見交換会の10月開催を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より開催は見送った。
 - ② 「交流の場」として、10月6日に「2023年機電技術者のための講演会」を実施した。講演内容は「宇宙建築ベンチャー企業「OUTSENSE」の折り技術と取組の紹介」(株)OUTSENSE)、「日立建機のカーボンニュートラルに向けた取り組み」(日立建機(株))の2題とした。(会場参加 18名、WEB参加 136名)講演会報告を機関誌(令和6年3月号)に掲載した。
 - ③ 「育成の場」として、3月19日に「若手現場見学会」を「横浜環状南線 桂台シールド工事」(大成・フジタ・銭高JV)で開催した。(参加者 29名)機関誌(令和6年6月号)に掲載予定。
 - ④ 「建設業界(機電職)就職活動用ガイド」の2022年改訂版の活用促進を図るべく引き続きHPに掲載し、冊子を販売した。
- 3) 建設機械の事故防止に資する諸活動を展開した。(クレーン安全情報 WG6回)
 - ① クレーンの事故・災害事例の収集を行い、情報の共有と事例研究を実施した。メンバー各社より情報(ネット情報含)を持ち寄り討議した。
 - ・ タワークレーンアウトマスト上部と旋回フレーム間の挟まれ災害について情報共有し、対策を検討した。
 - ② 「移動式クレーン、杭打ち機等の支持地盤養生マニュアル」のよくある質問と回答をHPに公開した。
 - ③ 移動式クレーンについて①最新技術動向、②安全装置(モーメントリミッタ)についてメーカー4社のからヒアリングを行った。令和6年4月に5社目のヒアリング実施後、取り纏める予定である。
- 4) i-Construction 施工の普及と ICT 施工の安全に資する活動を行った。(建設業 ICT 安全 WG6回)
 - ① 建設機械メーカー、広域レンタル会社などの ICT による安全対策製品の市場動向を調査するため、前年度に作成・公開したデータベースに対し、更新アンケートを行い、結果をHPに公開した。次年度以降も継続して行う予定である。

- ② 「建設機械施工の自動化・自律化協議会」に参画し、情報を共有した。
- 5) 建設業部会主催による合同部会を2月22日に開催した。講演内容は「清水建設におけるダイバーシティ推進への挑戦～女性活躍推進、パタニティ休業からの組織風土醸成～」、「2024年物流問題における取組状況」、「アスファルトフィニッシャ自動操舵・拡幅システムの技術紹介」、「最近の建設施工行政の動向について」の4題とした。建設業部会からは会場参加とWEB参加を合わせて47名、その他部会から107名が参加した。